

MIJ がドラッグロス解消を目的とした新ファンド

“MIJ BG2 Limited Partnership”を新設

2024年2月14日

株式会社メディカルインキュベータジャパン

株式会社メディカルインキュベータジャパン(本社:東京都港区、代表者:桂 淳、以下「MIJ」)は、新ファンドとしてMIJ BG2 Limited Partnershipを設立し、運用を開始しました。

本ファンドは、2020年に設立した「MIJ Biotech-Global Investment Limited Partnership」と「MIJ Biotech-Japan 投資事業有限責任組合」の新興製薬企業(Emerging Biopharma^{*1}):以下 EBP)への投資経験を基に、この度「国内外の EBP への株式投資」と「日本のドラッグロス解消」の二つの目的を兼ね備えた200億円規模の新ファンドの設立を決定し、今般最初のLP投資家として株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスと株式会社フォレストホールディングスに参画いただき投資活動を開始いたしました。

EBPへの株式投資については、MIJの既存ファンドで強化したグローバルエコシステムのネットワークを最大限活用し、引き続き国内外の有望な EBP へ株式投資(VC投資)を行って参ります。

今回の新設ファンドでは、革新的な EBP への投資に加えて、現在日本の医療界で大きな問題となっている、ドラッグロスを解消する為の投資(Drug Loss Elimination:DLE投資)も目的としています。

現在日本においては、欧米など海外で承認されているにも関わらず日本では承認されていない医薬品が約70%^{*2}存在し、その割合はここ数年、増加を続けています。またこれらの対象となっている薬剤の多くは、希少疾病や難病など治療対象となる患者数が少なく、大手製薬企業が開発対象としていない領域が多く含まれています。

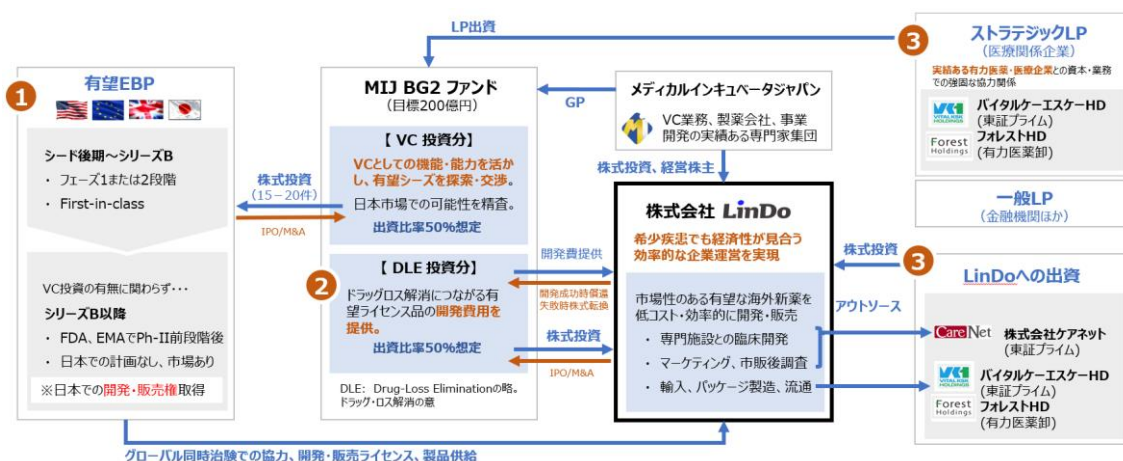
日本国内におけるドラッグロスの多くは、日本に開発と販売機能を持たない海外の EBP が創薬している医薬品で占められています。MIJはこれまでに投資検討した数百社を超える革新的な EBP との評価面談において、ほとんどの企業が日本市場に興味を持ちながらも臨床開発を計画していないことに強い懸念と危機感を抱いておりました。海外の EBP が日本での開発を希望しても、複数の要因により開発に進めないことがドラッグロスの原因となっています。その要因とは、日本市

場参入の投資収益性の不透明さ、グローバル開発と連動した開発体制構築の難しさ、承認と薬価収載プロセスの理解の不十分さ、言語・文化的障壁などです。

MIJ はこれらドラッグロスの原因を取り除き、国内で医薬品の開発及び販売を促進するビジネスモデルの基盤として本ファンドを位置づけております。

また、MIJ はこれらの課題を総合的に解決すべく、日本国内で開発から販売までを担う医薬品スタートアップ企業として株式会社 LinDo (以下 LinDo) を設立しました。EBP 製品を日本で臨床開発する費用は今回の新設ファンドから「ドラッグロス解消」を目的として投資を行い、LinDo が EBP 製品の日本での開発と販売を担います。そして、これまで既存の企業が取り組みにくかった売り上げ規模が中～小型の製品であっても収益を出せるように、LinDo は極力クリーンな経営体制を構築しました。

MIJ BG2で取り組むドラッグロス解消に向けたスキーム



この度の試みは日本においては極めて新しいビジネスモデルではありますが、海外 EBP の日本市場への参入を大きく促進し、海外 EBP からも注目される試みであると確信しています。また、LinDo への投資はドラッグロス解消を目指す企業への投資として、今後の成長を期待し支援してまいります。



本ファンドは、出資して頂いた、ストラテジック LP である株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスと株式会社フォレストホールディングスの新規ビジネス創造にも貢献するものと考えております。

MIJ は、ドラッグロス解消と革新的 EBP への投資という本ファンドの目的を最大化するため、目標金額の達成に向けて活動を続けてまいります。


出典、参考)

*1) IQVIA レポートで、年間売上高 5 億ドル未満かつ年間研究開発費 2 億ドル未満の企業と定義されている。


*2) 医薬産業政策研究所 政策研ニュース No. 63 (2021 年 7 月)「ドラッグ・ラグ:国内未承認薬の状況とその特徴」

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス  

- ・ 代表者:代表取締役社長 村井 泰介
- ・ 所在地:東京都世田谷区弦巻一丁目1番12号
- ・ 事業内容:東北・新潟・北関東・首都圏で営業展開するバイタルネットと関西で営業展開するケーエスケーが 2009 年に統合して出来た医療用医薬品卸売企業。グループで薬局事業、医療用機器・診断薬・材料等卸売事業、動物用医薬品卸売事業、農薬・農業用資材等の卸売事業を展開しています。
- ・ ホームページ:<https://www.vitalksk.co.jp/>
- ・ 問い合わせ先:コーポレートコミュニケーション部 佐藤 電話:022-266-8330

株式会社フォレストホールディングス 

- ・ 代表者:代表取締役社長 吉村 次生
- ・ 所在地:大分県大分市西大道二丁目3-8
- ・ 事業内容:フォレストグループは、医療用医薬品をはじめとして医療機器、材料、診断薬など医療機関向けの商材、一般用医薬品や薬粧品、動物用医薬品や食品など「医・健・食」を中心に多様な事業を展開しています。
- ・ ホームページ:<https://www.forestg.jp/>
- ・ 問い合わせ先:経営企画部 平尾 電話:092-477-5894

株式会社 LinDo(リンドウ) 

- ・ 会社名:株式会社 LinDo
- ・ 代表者:代表取締役社長 桂 淳
- ・ 所在地:東京都港区赤坂一丁目11番28号
- ・ 事業内容:欧米で開発されているにも関わらず日本では開発・承認申請の計画が無い新薬を日本で開発・承認取得・販売することで、いわゆるドラッグロスの解消を目指して事業を開始致しました。小児科領域を含む希少疾病や難病など国内で新しい治療薬の登場を待ち望む患者さんとその家族、治療を担当する医師、医療従事者の皆様の治療薬の選択肢拡大に取り組

んでまいります。

- ・ ホームページ:<https://www.lindosi.com/>

問い合わせ先:管理部 email: pr_contact@lindosi.com 電話:03-5545-5272

株式会社メディカルインキュベータジャパン

- ・ 代表者:代表取締役社長 桂 淳
- ・ 所在地:東京都港区赤坂一丁目 11 番 28 号
- ・ 事業内容:ヘルスケアビジネスと投資のプロ集団による、医療に特化した独立系投資事業会社。革新的スタートアップを探索し、患者さんに希望を、投資家に利益をもたらすエキサイティングな投資活動を行っています。1号ファンド、2号ファンドでは欧米、日本のライフサイエンスベンチャーへの投資実績があります。
- ・ 会社名:株式会社メディカルインキュベータジャパン
- ・ ホームページ <https://www.medicalincubatorjapan.com/>

本リリースの問い合わせ先

株式会社メディカルインキュベータジャパン

管理部 高橋 email: pr_contact@medicalincubatorjapan.com 電話:03-6426-5308

以上